

ボランティア活動センターの事業を紹介します



▶問い合わせ

ボランティア活動センター（☎ 2 2 1 - 1 0 1 1）

ところ 町民会館 2 階

開館日 月曜日～土曜日 ※日曜日・祝日は休館

時間 午前 9 時～午後 5 時 30 分

町民会館 2 階にある芦屋町ボランティア活動センターは、住民のボランティア活動の拠点として、平成 22 年 3 月に開設され、今年で 16 年目を迎えました。ボランティアに関する相談受付や活動支援、各団体の会議や作業場所の提供、各種情報提供を行っています。当センターでは登録団体や町民の皆さんを対象に、「団体活動の活性化支援」、「団体と住民とのかけ橋」、「人材育成」の三つを柱にして進めています。今年度も「共に支え合い、共に生きる『お互いさま』のまちづくり」を目指し、さまざまな取り組みを行っています。

●団体活動の活性化支援

団体支援には、「活動に必要な知識・技術の更なる向上」と「団体活動の紹介と交流」の二つの柱があります。

一つ目の柱として、5 月に「スキルアップ講座（広報）」を開催しました。ボランティア活動をしていく中での広報の役割について学びました。



△スキルアップ講座（広報）の様子

二つ目の柱として、8 月に「ボランティア活動団体交流会」を行います。今年度は、『視覚障がい者の特性と団体の活動について学び、支援の輪を広げよう！』をテーマに、視覚障がい者自身のデモンストレーションや、支援ボランティア団体によるワークショップを通して、特性や支援団体の活動を学び、理解と支援の輪を広げます。

●団体と住民とのかけ橋

◆登録団体紹介冊子の発行

当センターに登録して活動している団体をはじめ、町でボランティア活動を行う団体について、町民の皆さんに広く知ってもらうために「ボランティア活動団体紹介冊子」を発行しています。



◆ボランティアマッチング業務

ボランティア活動に興味・関心がある個人・団体・組織などの「ボランティアをしたい人」と、ボランティアを必要としている団体、組織などの「ボランティアを求める人」を登録し、それぞれに情報提供を行いながら、仲介・調整を行う「ボランティアマッチング」を行っています。社会貢献を望む個人や団体と、支援を必要とする人々や組織を効果的に結びつける重要な役割を担っています。



町ホームページ

●人材育成

当センターでは、ボランティア人材の発掘・育成を目的としたボランティア養成講座を実施しています。

今年度は「災害ボランティア養成講座」と「折り紙ボランティア養成講座」を開催します。

「災害ボランティア講座」では、『いざというときに備えよう、地域の力で！』をテーマに、日頃から支え合える地域づくりを目指し、災害発生時の活動において必要な心構えや備えなどを講義と疑似体験を通して、支援者・被災者両方の立場で学びました。

また今年度で3回目を迎える「折り紙ボランティア養成講座」は、『折る人から、届ける人へ 誰かのために活かす新しい一歩！』をテーマに、折り紙の楽しさを生かし、新たな地域活動への第一歩につなげていきます。



△折り紙ボランティア養成講座の様子

◆リーどぼらんていあキッズ

芦屋町の小学生を対象に、ボランティア活動を通じてこどもたちの社会力向上を目的とした、「リーどぼらんていあキッズ事業」を行っています。

昨年度は、赤い羽根共同募金運動の「街頭募金」や、人権まつりで「あそびの広場」の出店などへ、有志で参加しました。今年度は、北九州モノレール車両整備工場見学や、ランタン製作、ビーチクリーンアップなど年7回の研修会の開催を予定しています。

研修やボランティア活動を通して、こどもの規範意識や責任感を育てています。



△リーどぼらんていあキッズ

「リーど」は
ボランティア活動
センターの愛称だよ♪



△リーどくん

ーボランティア活動センターの使命と、これからー

町内には、長年活動を続けている団体が数多くあります。その継続の力は、町の財産です。

そして今、その財産を次の世代へ、どのようにつないでいくか、新しい参加のかたちをどう広げていくかが、これからの大切なテーマになっています。

今後、ボランティア活動団体同士が顔を合わせる場だけでなく、若い世代がボランティア活動を知る機会や、誰でもふらっと立ち寄れる場などを提供していけるように計画していきます。